

6月1日(金)～6月7日(木)

水道週間

「水道が うるおす日々の 健やかさ」

※平成19年度 第49回スローガン



考えてみませんか？ 一滴の水の大切さを



▲秋芳町嘉万の水源涵養林付近を流れる日峯(ひのみ)川

【山陽小野田市の水道のなりたち】

地域の多くが埋め立ての小野田地区は、井戸を掘っても塩水が出るため、そのまま飲むことができないうえ、飲み水も汚かったので伝染病が多く発生しました。また山陽地区でも、清潔な水の井戸が少なくて困っていました。そのため、健康な生活ができるようにと水道の敷設工事は始まり、小野田地区では昭和6年から、山陽地区では昭和27年から水道水が使えるようになりました。最初は使用地区も限られていましたが、少しずつ範囲が広がっていき、今ではほとんどの家庭で水道が使えるようになりました。

現在では、市民の健康で文化的な生活を支えるとともに、産業や都市機能の向上に欠かせないものとなっています。

【水源涵養林】

下流域に取水設備や浄水場のある山陽小野田市にとって、上流域の水質悪化は大きな影響を与えます。そのため水道局では、自然の恵みである水の大切さを再認識し、豊かな水源地域の自然を破壊することがないように「水を育む」「水を保護する」という視点で、秋芳町^{かま}嘉万に「水源涵養林^{かんよう}」を取得し、環境保全に努めるとともに、「水と森」に関する啓発活動をすすめています。

【ペットボトル「森響水」の製作(非売品)】

水道局では、昨年11月に「森響水(しんきょうすい)」という水道水のペットボトルを製作し、主に災害時の備蓄や水道の啓発活動に利用しています。森林を育てる「水」、水を生み出す「森林」…そういった両者の響きあい、影響しあう関係にちなんで「森響水」と名付けました。



▲ペットボトル「森響水」。非売品ですが、啓発活動等に一役買っています。

水道局からののお知らせ

(お問い合わせ ☎83-4111)

悪質な訪問販売などにご注意を！！

最近、「水道局の方から来ました」などと水道局職員を装ったり、水道局から委託された業者などと偽って水質検査や浄水器の販売を行う被害が全国的に起きています。

水道局では、お客様から要請のない水質検査を行ったり、浄水器などを訪問販売したりすることはありません。また、水道の修理は、山陽小野田市水道局の指定を受けた給水装置工事事業者でないとできません。「おかしいな？」と思われたら、水道局にお問い合わせください。

